

報告書作成委員

主査 平 修二 (京都大学工学部)
 幹事 大南 正瑛 (立命館大学理工学部)
 委員 砂本 大造 (三菱重工, 神戸研究所)
 // 藤原 達雄 (大同製鋼, 中央研究所)
 // 前田 徳美 (川崎重工, 技術研究所)
 // 三好 栄次 (住友金属, 中央技術研究所)
 // 山本 俊二 (神戸製鋼, 中央研究所)

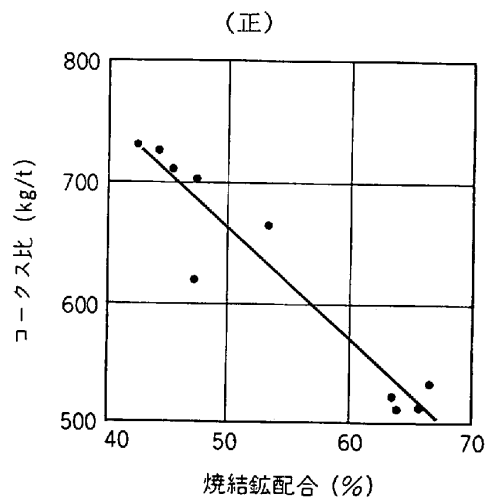
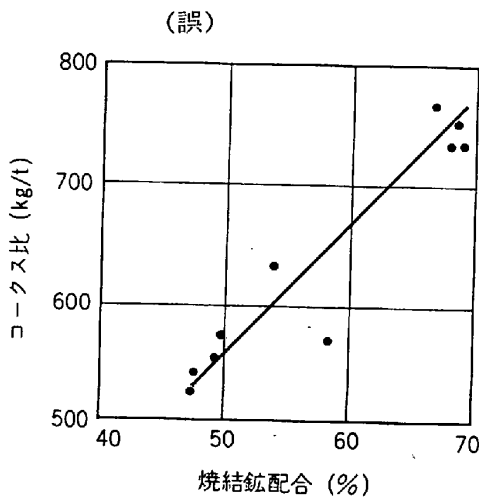
(株)神戸製鋼所中央研究所
 大同製鋼(株)中央研究所
 三菱重工(株)神戸研究所
 東北大学工学部金属材料工学教室
 石川島播磨重工業(株)技術研究所
 三菱製鋼(株)長崎製鋼所
 日新製鋼(株)周南製鋼所研究所
 (株)日本製鋼所室蘭製作所研究所
 日本特殊鋼(株)
 川崎製鉄(株)技術研究所
 愛知製鋼(株)研究開発部
 日立金属工業(株)安来工場
 山陽特殊製鋼(株)研究所
 三菱重工業(株)長崎研究所
 日本冶金工業(株)川崎製造所
 八幡鋼管(株)研究部

本試験に参加した試験機関名(順不同)

住友金属工業(株)中央技術研究所
 (株)日立製作所日立研究所
 八幡製鉄(株)技術研究所
 富士製鉄(株)中央研究所
 日本鋼管(株)技術研究所
 金属材料技術研究所
 住友軽金属工業(株)研究部

正 誤 表

- (1) 第 52 年 (1966) 第 5 号
 技術資料「薄鋼板の集合組織」
 本文 885 ページ右段, 第 2 図と第 3 図の説明が逆になりましたのでお知らせいたします。
 (2) 第 52 年 (1966) 第 8 号
 特別講演「製鉄・製鋼技術の今昔」
 本文 1218 ページ左段, 第 5 図



- (3) 第 52 年 (1966) 第 8 号
 誌上討論 講演 38「大型高炉における高圧操業について」
 本文 1264 ページ左段。

—質問の項—

(誤)

……………大量使用(7%)されても……………

—解答の項—

(誤)

(正)

……………大量使用(70%)されても……………

(正)

Table 2

期間	ストリップ	棚 吊
S.40.10.1~31	18	8
S.40.10.6~ 8	0	8

期間	ストリップ	棚 吊
S.40.10.1~31	18	8
S.40.10.6~ 8	0	0